



大麻東小



電話 011-386-5361 FAX 011-386-5362
HP アドレス <https://www2.ebetsu-city.ed.jp/oasahigashi-es/>

大麻東小 HP

令和8年2月20日
第12号

今年度のキーワード 「学び合い 認め合い 助け合う東っ子」

ミラノの夢の舞台から学ぶ「一歩踏み出す勇気」

校長 久々江 貴志

暦の上では春を迎えましたが、まだ冷え込みの厳しい日が続いております。しかし、今私たちの心は、イタリアで開催されている「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」の熱い戦いに釘付けになっていることと思います。

スキージャンプ競技において、ラージヒルで銀、ノーマルヒルと混合団体で銅メダルを獲得した江別市出身の二階堂蓮選手を始め、氷の上を颯爽と滑るスケート選手、雪山を果敢に攻めるスキー選手。テレビに映し出される日本代表「チームジャパン」の選手たちの姿には、目を見張るものがあります。彼らが立つのは、長年の厳しい練習と、数えきれないほどの失敗を乗り越えた先にたどり着いた「夢の舞台」です。

今回のチームジャパンのコンセプトは、「ともに、一歩踏み出す勇気を」です。

私たちは、新しいことに挑戦しようとする時、どうしても「失敗したらどうしよう」「自分には無理かもしれない」と足がすくんでしまうことがあります。しかし、オリンピック選手たちも、最初から完璧だったわけではありません。誰よりも転び、誰よりも悩み、それでも「一歩」を積み重ねてきたからこそ、今の輝きがあるのです。

そして、その「一歩」は、決して一人だけで踏み出すものではありません。支えてくれる家族、競い合う仲間、応援してくれる人々——。「ともに」歩む存在がいるからこそ、人は大きな勇気を持つことができます。

子どもたちにも、この冬、選手たちの姿から学んでほしいと願っています。大きな夢を持つことは素晴らしいことです。しかし、それと同じくらい大切なのは、目の前の小さな目標に対して「一歩踏み出す勇気」を持つことです。

- 苦手な教科に、もう一度向き合ってみる。
- 勇気を出して、友達に自分の気持ちを伝えてみる。
- 毎日続けている練習を、あと5分だけ頑張ってみる。

そんな小さな「一歩」の積み重ねが、いつか自分だけの大きな夢へとつながっていきます。

今年度も残りわずかとなりました。子どもたちが、仲間とともに自信を持って次の一歩を踏み出せるよう、教職員一同、全力で応援してまいります。

スキー学習終了！

冬休み明けより行ってきた約1ヶ月のスキー学習が終了しました。

3年生以上は、バスに乗り、「萩の山スキー場」での学習を行いました。途中、大雪による交通障害の影響で延期せざるを得なかった日もありましたが、全学年が2回、スキー場での学習を行うことができました。地域の方や保護者のみなさまにボランティアで学習補助をしていただきながら、可能な限り少人数グループで、安全に配慮して学習を進めることができました。これまでほとんどリフトに乗ったことのない子が、2回の学習を通じて、たいへん上達し、何度もリフトに乗れるようになったということもありました。

1、2年生は、グラウンド築山でのスキー学習を行いました。毎年、地域の「上野産業」様のご厚意でグラウンドに築山を建造していただいています。今年も、雪不足であったにもかかわらず、冬季休業中に立派な築山を造っていただきました。また、楽しく、安全にスキー学習をすることができるように、6年生が築山の雪踏みを行ったうえで、低学年が学習するのが伝統になっています。こちらも保護者のみなさまにボランティアで学習補助をしていただいております。たくさんの方々のご協力のおかげで、本校のスキー学習が成り立っているということを改めて実感することができたスキー学習となりました。ありがとうございました。



ようこそ江別市へ！～土佐市児童との交流～

昨年10月に江別市の児童生徒を代表して、〇年〇組の〇〇〇さんが高知県土佐市を訪問しました。今度は、1月21日（水）に土佐市より2名の5年生児童が江別市と大麻東小を訪れました。まる1日5年生と一緒に過ごした2人は、グラウンドで雪をおもいっきり楽しみ、じゃがバターを食べ、東小の5年生とたくさん交流を深めました。わずかな期間の在校でしたが、仲良しの友達になりました。気候や文化の異なる地域の友達とふれ合ったことは5年生の子どもたちにとってもたいへん有意義な経験になったことと思います。



学校運営委員会(CS)③

2月5日（木）に3回目の学校運営委員会が開催されました。今年度の本校の教育活動について、委員さんから様々な貴重なご意見をいただきました。会議については、ホームページにアップしていますので、ご覧ください。

3月の生活目標

1年間をふりかえろう

- ・自分の成長を見つめよう
- ・お世話になった人に感謝の気持ちを表そう
- ・学校のすみずみきれいにしよう

一人ひとりの個性を輝きに！

～ともに育ち、学び合う「あさがお学級」の紹介～

大麻東小では「学び合い 認め合い 助け合う 東っ子」をめざしています。その役割の一つを担っているのが、特別支援学級（あさがお学級）です。あさがお学級がどのような場所で、どのような学びを大切にしているのかをご紹介します。

◆一人ひとりに合わせた「オーダーメイドの学び」

特別支援学級では、お子さんの発達の特性や学習ペース、得意・苦手なことに合わせ、少人数の落ち着いた環境で、きめ細やかな指導を行うための学級です。ここでは、教科書の内容を学ぶだけではなく、その子にとって、今最も必要な「自立活動」に重点を置いています。例えば、手先の器用さを養うための作業学習、自分の気持ちを相手にわかりやすく伝えるソーシャルスキルトレーニング、集中力を高めるための体づくり、苦手なことにも挑戦しようとする心を育てるなど、一人ひとりの目標に合わせた「オーダーメイドの学び」を日々積み重ねています。こうしたスモールステップの積み重ねが、子どもたちの「わかった！」「できた！」という確かな自信へと繋がっています。

◆「交流学習」が育む、多様性を認める心

あさがお学級において、大切にしている活動の一つが「交流学習」です。あさがお学級の子どもたちは、一日のすべてを支援学級で過ごすわけではありません。音楽や体育、図工などの教科、あるいは給食や清掃、学校行事といった場面で、通常学級の仲間とともに活動しています。この交流は、あさがお学級の子どもたちにとって社会性を広げる貴重な機会となるだけでなく、通常学級の子どもたちにとっても大きな学びの場となっています。「困っている友達にどう声をかければよいか」「人によって得意なことや苦手なことが違うのは当たり前」ということを日常のかかわりの中で、肌で感じ、学ぶことができるからです。「みんなちがって、みんないい」。この言葉を知識として知るだけでなく、体験として理解していくことで、子どもたちの心には多様性を尊重する土壌が育まれます。

◆インクルーシブな学校づくりをめざして

現在、教育現場では「インクルーシブ教育」の推進が求められています。これは、しょうがいのあるなしにかかわらず、誰もがともに学び、支え合う社会をめざす考え方です。特別支援学級は、特別な場所や切り離された場所ではありません。むしろ、学校全体の教育の質を豊かにする「多様性の窓口」です。どの子にも苦手なことがあり、その子にも優れた個性があります。特別支援学級での工夫や配慮（視覚的なスケジュール提示や落ち着ける場所の確保など）は、実は通常学級の子どもたちにとってもわかりやすく安心できる環境づくりに繋がっているのです。

本校の教職員は、全員で「あさがお学級」の子どもたちを見守り、全校児童の担任であるという思いで日々の教育活動を進めています。保護者のみなさまにおかれましても、子どもたちが持ち帰るお話や行事での姿を通して、一人ひとりの歩みの違いをあたたく見守っていただければ幸いです。もしお子さんの発達や学習について、また、あさがお学級の取り組みについて、気になることや相談したいことがありましたら、いつでもお知らせください。

すべての子どもが自分らしく、安心して輝けるあたたかな学校を地域、保護者のみなさまとともに創り上げていきたいと願っています。

3月の行事予定

★3月の下校時刻 → 午後5時

日	曜	行事予定	給食	清掃	下校開始時刻
1	日				
2	月	安全点検日	○	○	14:30
3	火	全校朝会 6年生を送る会	○	○	14:30 15:35
4	水	フッ化物洗口	○	○	13:25 14:35
5	木		○	○	14:30
6	金	3～6年5時間授業 図書貸出終了 あさがお参観日	○	○	13:20 14:30
7	土				
8	日				
9	月		○	○	14:30
10	火		○	○	14:30 15:35
11	水	フッ化物洗口	○	○	13:25 14:35
12	木		○	○	14:30
13	金	3～6年5時間授業	○	○	13:20 14:30
14	土				
15	日				
16	月		○	○	14:30
17	火		○	○	14:30 15:35
18	水	5年6時間授業 卒)前日準備 フッ化物洗口	○	○	13:25 14:35 15:20
19	木	第57回卒業証書授与式	×	×	★12:00
20	金	春分の日			
21	土				
22	日				
23	月		○	○	14:30
24	火	3時間授業 後期修了式 離任式	×	簡単	★11:35

司書：図書館司書 SC：スクールカウンセラー 相談員：心の教室相談員 GSS：ギガスクールサポーター

次年度より、学校における働き方改革の取組の一つとして、毎月2回「NO 会議 DAY」を設定することで、教職員が定時に退勤しやすい環境を整備し、心身の健康を保持することをめざします。この日は、電話が16：30に自動音声応答に切り替わります。

なお、来月3月24日（火）を「NO 会議 DAY 試行日」として試験的に実施いたします。保護者のみなさまには、ご不便をお掛けすることが出てくるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。